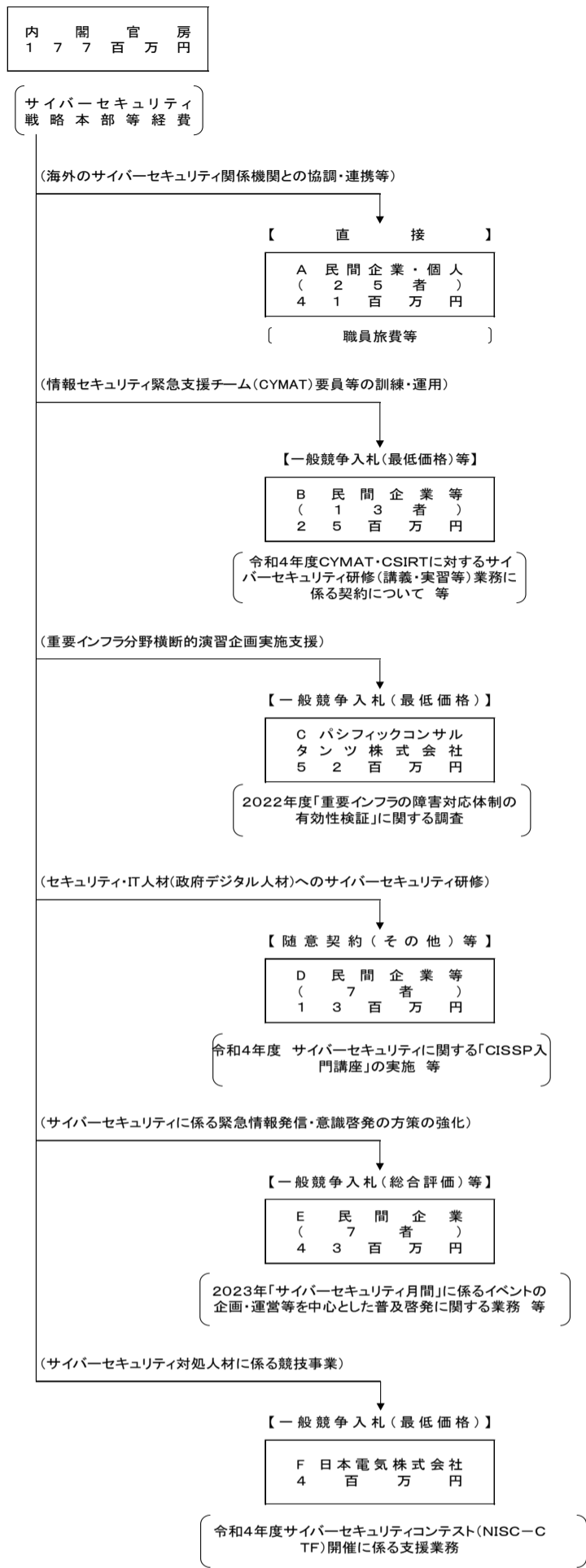


令和5年度行政事業レビューシート ( 内閣官房 )												
事業名	サイバーセキュリティ戦略本部等経費			担当部局庁	内閣サイバーセキュリティセンター	作成責任者						
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	—	内閣参事官 垣見 直彦						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	サイバーセキュリティ基本法 (平成26年法律第104号)			関係する 計画、通知等	「サイバーセキュリティ戦略」 (令和3年9月28日閣議決定)							
政策	—			主要経費	その他の事項経費							
施策	—											
政策体系・評価書URL	—											
事業の目的 (5行程度以内)	本事業は、サイバーセキュリティ戦略(令和3年9月28日閣議決定。以下、「戦略」という。)において定められている基本的な理念を元に、サイバー空間を「自由、公正、かつ安全なサイバー空間」とすることにより、サイバーセキュリティ基本法(平成二十六年法律第百四号)に掲げた目標に資するべく、従来のサイバーセキュリティ戦略で掲げた5つの原則、(1)情報の自由な流通の確保、(2)法の支配、(3)開放性、(4)自立性、(5)多様な主体の連携、を堅持し、国民の自由な経済社会活動を保障し国民の権利や利便性の確保を図り、適時、適切な法執行・制度により悪意ある者の行動を抑制することによって国民を保護することを目的としたものである。											
現状・課題 (5行程度以内)	不確実性が日々増大する現下の情勢変化や昨今の状況は、(1)サイバー空間における驚異の高まりに対応するためのインシデントの未然防止、(2)「公共空間化」によるリスクの広がりに対応するための地域・中小企業等のセキュリティ強化・支援、サイバー犯罪への対応強化による安全・安心の確保、(3)厳しさを増す安全保障環境の中での国際協力・連携の強化、を必要とするようなサイバー空間における様々な課題やリスクを顕在化させており、戦略に掲げる「自由、公正、かつ安全なサイバー空間」の実現のためには、これらに適切に対応していくことが重要な政策課題となっている。											
事業概要 (5行程度以内)	上記課題を解決するとともに、目的を達成するため、当センター及び各府省庁職員を主な対象としての緊急事態における対処に資する訓練、重要インフラ事業者を主な対象としての分野横断的な総合演習、海外のサイバーセキュリティ関係機関との情報交換等のための海外出張及び国際会合の開催、各府省等の政府デジタル人材及び専任審議官等を対象としたサイバーセキュリティ研修、国民一般に向けたサイバーセキュリティに関する普及啓発イベント、政府関係職員のサイバー攻撃解析・対処能力の向上及び人材発掘を目的とした競技会等を行う。											
事業概要URL	<a href="https://www.nisc.go.jp/policy/materials/index.html">https://www.nisc.go.jp/policy/materials/index.html</a>											
実施方法	直接実施、委託・請負											
補助率等	—											
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	203	令和3年度	200	令和4年度	190	令和5年度	190	令和6年度要求	200
		補正予算(B)	—	—	—	—	88	—	—	—	—	—
		前年度から繰越し(C)	—	—	—	—	—	—	—	77	—	—
		翌年度へ繰越し(D)	—	—	—	—	▲ 77	—	—	—	—	—
		予備費等(E)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	203	200	201	267	200	—	—	—	—	—
		執行額(G)	135	129	177	—	—	—	—	—	—	—
		執行率(%) =(G)/(F)	67%	65%	88%	—	—	—	—	—	—	—
		当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	67%	65%	64%	—	—	—	—	—	—	—
		令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)					
(項)	内閣官房共通費		—	—	【重要施策推進枠】 14							
(目)	情報処理業務庁費		150.0	153.3	【主な増減理由】 海外のサイバーセキュリティ関係機関との協調・連携等、重要インフラ分野横断的演習企画実施支援、政府機関等セキュリティ対処人材に係る競技事業の経費の増							
(目)	職員旅費		34.4	41.2								
(目)	委員等旅費		5.5	5.3								
(目)	諸謝金		0.1	0.2								
(目)	その他		—	—								
	計(A)	190	200									

活動内容① (アクティビティ)	海外のサイバーセキュリティ関係機関との協調・連携等									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	海外関係機関及び国際会議への出席	海外出張延べ人数	活動実績	人数	-	5	42	-	-	
			当初見込み	人数	-	-	24	48	65	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	サイバーセキュリティの確保を図るためには、国際的なサイバーセキュリティに係る動向を踏まえるとともに、諸外国との連携協調が不可欠である。そのため、海外のサイバーセキュリティ関係機関との協議・連携事業を確実に実施する中で、協力関係を築き、関係の深化のため、諸外国との連携協調を継続する必要があるため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
	海外のサイバーセキュリティ関係機関との協議・連携事業を確実に実施する中で、協力関係を築き、関係の深化や諸外国との連携・協調の継続を推進し、サイバーセキュリティの確保を図る。	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	-
達成度			%	-	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	本事業は、国際的な連携・強調の下で我が国のサイバーセキュリティ政策の推進を可能にしたとともに、各国と国境を越えたサイバー事案に共同で対処する関係を構築し、我が国の安全保障分野での対応力強化に寄与した。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	当アクティビティで行っている事業について、他国との調整事項等に係るものであり、定量的なアウトカムを設定することが困難であるため。									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
活動内容② (アクティビティ)	情報セキュリティ緊急支援チーム(CYMAT)要員等の訓練・運用、「重要インフラの障害対応体制の有効性検証」に関する調査、サイバーセキュリティに関する「CISSP入門講座」の実施、「サイバーセキュリティ月間」に係るイベントの企画・運営等を中心とした普及啓発、サイバーセキュリティコンテスト(NISC-CTF)開催に係る支援									
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	CYMAT・CSIRT研修等の実施	実施回数	活動実績	回数	15	18	21	-	-	
			当初見込み	回数	24	24	24	24	20	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国民が安全で安心して暮らせる社会の実現を図るには、サイバーセキュリティの確保に必要な人材の育成、インシデント発生時における事業者の対応能力向上、国民のリテラシー向上等が必要であるため。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
	サイバーセキュリティの確保に必要な、人材育成、普及啓発などに係る施策を継続することによって、国民が安全で安心して暮らせる社会の実現を図る。また、施策に係るアンケートも実施し、効果の確認、施策の改善を継続している。	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	-
達成度			%	-	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	本事業は、当該事業参加者への各種アンケート調査においてサイバーセキュリティに関する技術向上や対応能力向上などの効果を実感できたことが確認出来ており、人材育成等の強化に寄与した。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	当アクティビティで行っている事業について、演習等の実施結果がサイバーセキュリティの確保にどのように反映されたか等を定量的なアウトカムとして設定することが困難であるため。									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
事業に関連する KPIが定められ ている関係決定 等	名称	-								
	URL	-								
	該当箇所	-								



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」において  
 ブロックごとに最大の金額が  
 支出されている者について記載  
 する。費目と使途の双方で実情が  
 分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費(交通費)	職員旅費、委員等旅費	20.1	人件費	講義、実習、確認テスト	9.8
			研修費用	プロジェクト管理、設備費等	2.2
			その他	消費税	1.2
計		20.1	計		13.2
C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	演習シナリオの検討・調整等	43.8	人件費	受講費	2
直接経費	演習時機器レンタル等	3.4	研修費用	教材費、諸経費	3.1
その他	消費税	4.7			
計		51.9	計		5.2
E.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	イベント企画・運営費用	1.5	人件費	問題作成、システム環境構築等	3.5
事業費	コンテンツ・動画制作費、イベント周知告知費用等	18.7	その他	消費税	0.4
その他	報告・分析資料	3.3			
その他	消費税	2.3			
計		25.8	計		3.9

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社霞が関トラベル	6010001013886	旅費(交通費)	20.1	その他	-	-	
2	日経印刷株式会社	7010001025732	インターネットの安全・安心ハンドブックVer5.00等の印刷及び発送等に関する業務	10.6	一般競争契約 (最低価格)	3	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから非公表とされている。
3	株式会社阪急阪神ビジネスラベル	4120001126778	旅費(交通費)	5.8	その他	-	-	
4	個人A	-	国際会議等への参加費	0.6	その他	-	-	
5	個人B	-	国際会議等への参加費	0.6	その他	-	-	
6	個人C	-	国際会議等への参加費	0.4	その他	-	-	
7	個人D	-	国際会議等への参加費	0.3	その他	-	-	
8	個人E	-	国際会議等への参加費	0.3	その他	-	-	
9	個人F	-	国際会議等への参加費	0.3	その他	-	-	
10	株式会社旅工房	4013301007221	旅費(交通費)	0.3	その他	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大日本印刷株式会社	5011101012069	令和4年度CYMAT・CSIRTに対するサイバーセキュリティ研修(講義・実習等)業務に係る契約について	13.2	一般競争契約 (最低価格)	3	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから非公表とされている。
2	株式会社インフォセック	3010401094918	令和4年度サイバーセキュリティインシデント対処研修	10.9	一般競争契約 (最低価格)	1	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから非公表とされている。
3	個人A	-	BlackHatUSA2022等の参加費用	0.1	その他	-	-	
4	個人B	-	BlackHatUSA2022等の参加費用	0.1	その他	-	-	
5	個人C	-	BlackHatUSA2022等の参加費用	0.1	その他	-	-	
6	個人D	-	BlackHatUSA2022等の参加費用	0.1	その他	-	-	
7	個人E	-	暗号と情報セキュリティシンポジウム(SCIS2023)等の参加費用	0	その他	-	-	
8	個人F	-	暗号と情報セキュリティシンポジウム(SCIS2023)等の参加費用	0	その他	-	-	
9	サイバー防衛研究会	-	サイバー防衛シンポジウム熱海2022の参加費用	0	その他	-	-	
10	特定非営利活動法人新潟情報セキュリティ協会	4110005001739	情報セキュリティワークショップin越後湯沢2022の参加費用	0	その他	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	パシフィックコンサルタンツ株式会社	8013401001509	2022年度「重要インフラの障害対応体制の有効性検証」に関する調査	51.9	一般競争契約 (最低価格)	1	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから非公表とされている。

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学校法人東京電機大学	3011805002185	令和4年度 サイバーセキュリティに関する「CISSP入門講座」の実施	5.2	随意契約(その他)	-	-	
2	株式会社Armoris	4010501044623	サイバーセキュリティ・情報化審議官等を対象としたサイバーセキュリティ研修	4.2	一般競争契約 (最低価格)	1	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから非公表とされている。
3	TAC株式会社	3010001022246	令和4年度 政府機関職員を対象とした「情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験対策講座」の実施	3.2	一般競争契約 (最低価格)	2	-	落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから非公表とされている。
4	個人A	-	諸謝金等(NISC初任者研修、令和4年度サイバーセキュリティ・情報化審議官等研修(セキュリティ関係))	0	その他	-	-	
5	個人B	-	諸謝金等(令和4年度第1回サイバーセキュリティ・情報化審議官等研修)	0	その他	-	-	
6	個人C	-	諸謝金等(令和4年度第2回サイバーセキュリティ・情報化審議官等研修)	0	その他	-	-	
7	麹町税務署	-	諸謝金: 令和4年度第1回サイバーセキュリティ・情報化審議官等研修	0	その他	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ダイナモ	6010701017253	2023年「サイバーセキュリティ月間」に係るイベントの企画・運営等を中心とした普及啓発に関する業務	25.8	一般競争契約 (総合評価)	6	-	落札率については、予定価格が顕推される恐れがあることから非公表とされている。
2	株式会社 アナハイム・テクノロジー	4010001074443	令和4年度サイバーセキュリティに関する普及啓発・人材育成施策の活用促進に係るポータルサイト運用業務	8.9	一般競争契約 (総合評価)	1	-	落札率については、予定価格が顕推される恐れがあることから非公表とされている。
3	株式会社技術評論社	9011101044934	「インターネットの安全・安心ハンドブックVer5.00」への改訂業務	7.8	随意契約(企画競争)	-	-	
4	東日本電信電話株式会社	8011101028104	普及啓発活動のためのインターネット環境整備 通信回線提供業務	0.1	随意契約(その他)	-	-	
5	株式会社インターネットイニシアティブ	6010001011147	モバイル端末に係る通信サービス	0	随意契約(その他)	-	-	
6	株式会社NTTドコモ	1010001067912	普及啓発活動のためのインターネット通信回線提供業務	0	随意契約(その他)	-	-	
7	株式会社NTTぷらら	9013301016102	普及啓発活動のためのインターネット通信回線提供業務	0	随意契約(その他)	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	令和4年度サイバーセキュリティコンテスト(NISC-CTF)開催に係る支援業務	3.9	一般競争契約 (最低価格)	1	-	落札率については、予定価格が顕推される恐れがあることから非公表とされている。
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	